

### III 組織的対応

いじめは未然に防ぐことが最良であるが、万一発見した場合にはいじめ対策委員会を中心に組織的に対応する。特定の教職員がひとりで抱え込んだり、隠したりすることなく、学校長のリーダーシップのもと学年や学校全体で組織的に対応することが大切である。  
取組にあたっては迅速な対応を心がけ、情報を得たその日のうちに方針を決定し対応することとする。ただし、重大事態や加害者、被害者の意識にずれのある場合やネット関係等については、把握した状況を十分に検討し、関係機関とも連携の上、慎重に対応する。

